

14日頃からかなりの高温になる予報です 健苗育成に努め、適期に移植を行いましょう

1 移植のポイント

- ・移植適期は**5月15日～20日頃**です（**晩限は5月25日!!** ただし、「つや姫」は5月20日まで）。
- ・低温や強風下での移植は、植え傷みの原因となり、活着不良や初期生育の遅れに繋がります。
風が弱い温暖な日を選んで田植えを行いましょう。
- ・植込み本数は**m²当たり100本程度**（**70株/坪で株当たり4～5本**）を目安とします。
- ・過度な疎植や深植えは茎数不足につながるため、避けましょう。
- ・深植えは分けつの発生を抑制するため、**植付け深度は3cm程度**にしましょう。
- ・取置苗はいもち病の伝染源となります。補植は移植日に行い、**取置苗はすぐに処分しましょう!**
補植をする場合は、除草剤の散布前に行いましょう。

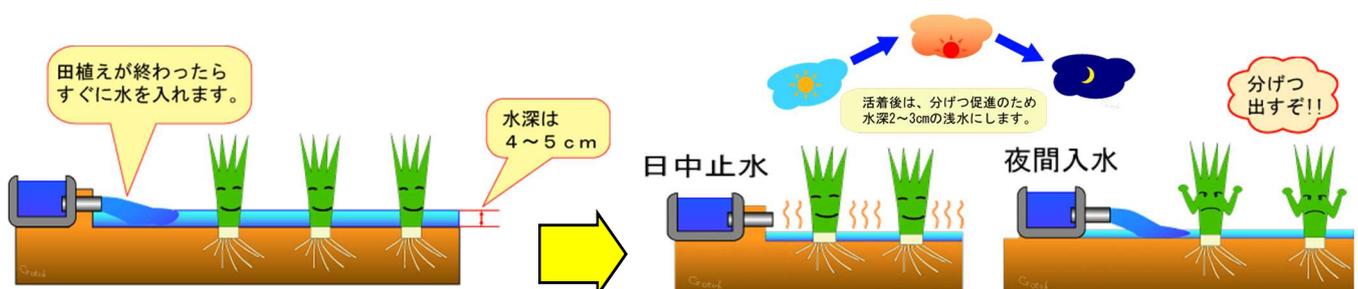
6月10日頃の品種毎の目標茎数の目安

品種	70株植え (本/株)	60株植え (本/株)	茎数 (本/m ²)
はえぬぎ	12～13	14～15	260
つや姫	10～11	12～13	220
雪若丸	11～12	13～14	240

雪若丸は初期
茎数の確保が
重要です

2 移植後の水管理

- ・移植後は、**水深4～5cm程度に湛水**し、活着を促進させましょう。
- ・活着後は、**水深2～3cmの浅水管理**とし、**日中止水・夜間かんがい**で水温にメリハリをつけて分けつの発生を促しましょう。今年は乾土効果が期待できません。浅水管理でスタートダッシュを!
- ・強風や低温が続く場合は、やや深めの水深（4～5cm程度）とし、稲体の保護に努めましょう。



3 除草剤の適正使用

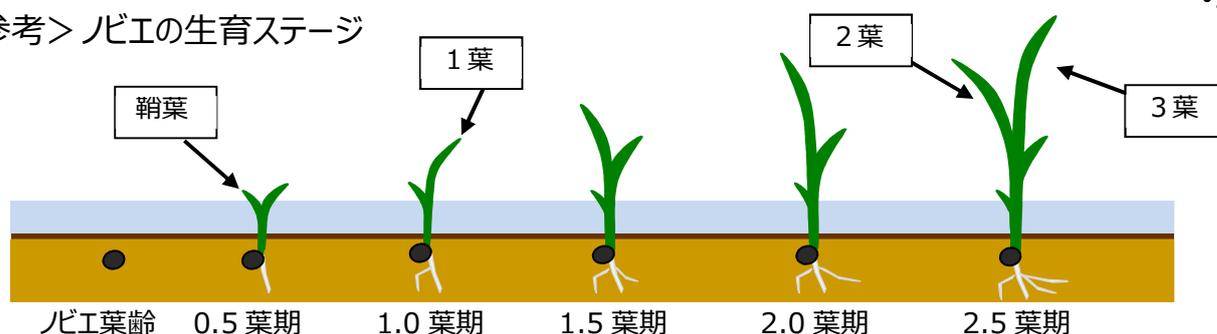
近年、代かき後の気温が高温で経過し、
雑草の葉齢展開が早いため**要注意!**

- ・雑草の生育は**代かき直後から**始まります。雑草の葉齢が進むと除草剤が効きにくくなるため、使用時期の範囲内で**早めの散布**を意識しましょう。
- ・**箱施用剤と除草剤(1キロ剤)の取違いに注意!** 散布前によく確認しましょう。

<効果を高める水管理>

- ・除草剤散布では、**水深 3~5cm**(ジャンボ剤、豆つぶ剤は水深 **5~6cm**)を確保します。
田面が露出すると、除草剤の拡散が不十分となり、除草効果が劣るため注意しましょう。
- ・**散布後は 7日間止水**し、田面の露出を防ぎましょう。

<参考> 雑草の生育ステージ



多くの初中期一発剤は**雑草 2.5~3 葉期**が処理上限!
除草剤の使用時期をよく確認し、遅れないように散布!

4 土壌の異常還元(ワキ)対策

- ・高温が続くと、土壌の還元が進み、根の生育を妨げるガスが発生します(ワキ)。
- ・晴天・高温が続く場合は、**2~3 日おきに水交換**を行い、ワキや表層剥離を抑制しましょう。
- ・ワキの兆候がみられたら、**速やかに水交換や夜間落水、田干し等**を行きましょう。

「ワキ」の程度	生育への影響	対策
水田を歩くと気泡が発生する	中：根の活力低下	水交換
水田を歩くと盛んに気泡を生じ、 においを感じる	大：根張り不良	水交換、夜間落水
水田を歩くと著しく気泡を生じ、 においを強く感じる	特大：根の伸長阻害 地上部黄化	夜間灌水、 田干し(曇天日 2~3 日)

~春季農作業事故防止啓発運動 展開中~

4月10日~6月10日

焦らず、きもめず、STOP 農作業事故!!

管内の稲作情報を
LINEに掲載しています!

QRコードを読み込んで、
グループ登録をして下さい。

